

第6回相談支援部会

日時	平成21年11月27日(金) 10:00~12:10
場所	障害者支援センター松が丘園
出欠	出席 9名・欠席 2名
議事	<p>1 自立支援協議会シンポジウムの報告及び意見交換</p> <p>(部会員の意見集約)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚労省の高原さんからの、相模原は何を目指しているのか見えにくい、当事者のニーズをしっかりと受けとめていかないと、議論をしてもから滑りになってしまう、という指摘は、真摯に受け止めたい。 ・当事者のニーズをいかに汲み取っていくか、検討したい。 ・個別の事例から地域の課題を探りだすのが協議会の課題であり役割だと思う。ただ、ここまで大きくなった相模原で、どうやるのかを考えていかななくてはならないと思う。 ・ライフステージを一貫した共通ファイルの話は、大変有効だと思った。 ・ライフステージごとに支援機関も変わるが、その際のバトンの受け渡しが上手くいかず、バトンを落とすってしまう、という話は耳が痛い。 ・適確な課題分析、将来が読み取れるものの目標の提示、適正規模の検討、などの指摘もあった。現状、部会での課題分析は、出来ていないわけではなく、データに基づいていないだけだと思う。 ・各分野を代表して、この部会に11人が集まっていることは、大変意味があること。部会員として出来ることは何か、を考えさせられた。 <p>2 ワーキンググループからの報告及び協議</p> <p>(1) Aグループ「相談支援の手引き作成」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月は5日、18日の2回開催。今月から相談支援事業所から3名がワーキングに加わった。 ・手引きの内容は、相談支援事業所の周知をメインにする。相談支援事業所は、こういう相談も受けている、ということ表現するのが難しいが、相談の例示として、案を出し合ったところ、「制度・手帳」「サービス利用」「就労」「生活全般の困りごと」「専門的な相談」の大きく5つのカテゴリーに分けられた。 ・はじめは、「Q&A」にしてはどうか、と考えたが、相談例示の「Q」に対する回答「A」が、個々に違ってくるので、一概に記載できない。

- ・ 相談者が、一人で抱えこまず、なんでも身近な窓口相談してもらうことが目的。まず、何かあったら、地域の相談事業所で受け止めるのだということが分かる内容にする。
- ・ これから、事業所の紹介シートを作るのに、相談支援事業所へ情報の提供を依頼しなければならない。
- ・ 手引きは、手に取ってもらえるもの、見てもらえるものが良い。
- ・ 福祉とは関係ない市民が足を運びやすい場所におくのも良いと思う。

(2) Bグループ「相談支援の質の向上」

- ・ 11月11日に開催。今回から、相談支援事業所から3名が新たに参加した。
- ・ 広くなった相模原で、どうネットワークを作っていけばよいか、という議論になった。区ごとにネットワーク会議をもって、顔のみえる関係づくり、情報交換できる場があることは、有効。
- ・ 例えば、3区にネットワーク会議を立ち上げる。その上に、部会、その上に全体会、というネットワーク構造も考えられる。3区のネットワーク会議には、部会員がそれぞれ参加するなどすれば、情報を部会に持ち帰って地域課題を共有できる。
- ・ ネットワークが必要という共通認識は持てたが、ネットワーク会議をやっても、ただの情報交換では、行き詰る。機能や役割が問題。
- ・ 相談支援事業所の地域偏在は問題。
- ・ 方法論は今後の課題。どうやって立ち上げるか。
- ・ どこがネットワークの要になるか。

3 次回の議題について

以 上